

浅口市立寄島中学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○読解力を問う設問において全国平均を上回る正答率を示しており、生徒の文章理解力が高いと考えられる。 ○基礎計算力が全国平均を上回り、正確な計算を迅速に行う能力がある。 <課題> ▲複雑な読解問題では、全体的に正答率が低く、より深い理解力が求められる。 ▲応用問題において全国平均を下回る傾向があり、論理的思考の応用が課題と考えられる。	<成果> ○授業中、友人や教員と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めることができている。 ○ICTを活用した授業が定着しており、効率的な学習が行われている。 <課題> ▲自己学習に対する意識や意欲にばらつきがあり、家庭での学習時間が確保されていない生徒が一定数いる。 ▲学習計画の立案や目標設定が不十分であり、自己管理能力の向上が求められる。

岡山県学力・学習状況調査の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○英語では、語彙や基本的な文法問題で全国平均を上回る正答率が見られ、基礎的なコミュニケーション能力が向上している。 ○国語の読解力や数学の基礎計算力において、生徒は自分の考えを表現するための論理的な構成力が身につけていると考えられる。 <課題> ▲国語の記述式問題において、無解答率が高く、文章による表現力に課題が残ると考えられる。 ▲数学の応用問題（特に図形や空間認識に関連する問題）では、論理的思考を発揮する機会が不足している。 ▲英語のリスニングおよび長文読解において、生徒の理解力にばらつきがあり、特に聞き取りのスキルが課題として残っている。	<成果> ○生徒たちは授業中に友人や教師と話し合う活動を通じて、考えを深めたり、新しい視点を得たり、していることがうかがえる。 ○ICTを活用した学習が定着しており、調査結果からも、授業内容の理解が深まっていることが確認できる。 <課題> ▲家庭学習に対する意識が薄い生徒が一定数おり、学習計画を立てる力が不足している。 ▲学校外での学習時間が少ない生徒が多く、特に英語の復習や追加の学習が十分に行われていない。

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①生徒同士が協働して問題を解決する機会を増やし、グループ学習の時間を定期的に設定することを実施する。
- ②各教科での学びを統合的に活用できるように、教科横断的なプロジェクトを年間カリキュラムに組み込み、実施することを検討したい。
- ③応用問題に対する演習を積極的に取り入れ、論理的思考を養う活動を展開したい。
- ④記述式問題に対する指導を強化し、表現力の向上を目指した授業を実施する。

寄 島 学 園 で の 取 組

- ・「チャレンジ寄島学園」を長期休業明けに保・こ・小・中で実施し、望ましい生活習慣の定着と家庭学習の習慣の定着に取り組む。
- ・小中で統一して作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。
- ・学校運営協議会が主体となって漢字検定を年2回実施し、積極的な参加を促す。
- ・課題になっている「読解力」の育成に向けて、朝の学習の時間などを活用し、繰り返し課題に取り組む。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 家庭での学習時間の確保と計画的な学習の促進を、保護者に協力をお願いしたい。
- 地域の教育資源（岡山天文学博物館他、浅口市の施設）を活用し、学校外での学習活動を推奨する。
- 家庭や地域の協力を得て、生徒が自主的に学習できる環境づくりをサポートしていただきたい。